

令和6年12月2日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 都志今朝一

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	令和6年度伊北議員研修会
研修・視察実施場所	南箕輪村村民センター
研修・視察の期間	令和6年11月19日
研修・視察の成果等	講師は南箕輪、地域おこし協力隊の杉本氏による講演「大芝高原の森づくりについて ～ 多様性の森」をつくる取り組み～についての講演と後半は森歩き@みんなの森の二部構成で行われた。センターでは、現在協力隊の活動について、人と森の関係で、森をつくる・森とつながる・森をつかうについての定義としての私見を聞く。つきには、講義の中で最も重要と思われる・今日のねらい（皆さんに持ち帰ってほしいこと）と題して5項目が上げられた。①：上伊那の森は転換期にある。（松枯れ）②：まずは「どんな森にしたいか」明確に。（目標林型）③：そのために「どうすれば良いか」。（施業方針）④：選択枝の1つとして、自然の力を活かした森づくりもある。⑤：市町村林務の役割とは？フォレスターとは？森を造るには、どの項目も重要であり、大芝の森造りにより必要性を感じた。現在の大芝の森の概要についてもアカマツの松枯れの様子などの現況。今後みんなの森をどの様な森にしたい？。村民ニーズの調査の結果：「多様性」と「広葉樹」がキーワード。「多様性の森」をつくる取り組みの実施計画の必要性を感じた。アカマツ伐採時に広葉樹を残し、自生する稚樹を育てる。自生する稚樹を苗にして育てていき、自生している稚樹をむやみに刈り払わず、「多様性の森」造りに向けて、課題のヤブへの理解促進を村民に発信し違和感を取り除き理解が獲られる活動が必要。大芝の森を村民全員で守り後世に残す活動の必要性を強く感じとった。

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。